



北陽同窓

会報・第24号

2001年10月22日

発行 北陽高等学校同窓会
編集 同窓会広報委員会
印刷 株式会社アーツ



もくじ

三木同窓会長ご挨拶	2	PTA会長ご挨拶	8
母校の現況・林校長	2	平成13年度母校進路状況	9
母校創立75周年を祝う会	3	母校・クラブニュース(1)~(2)	10~11
出席者御芳名録	4	同窓の近況(1)~(3)	11~13
第24回代議員総会	5	第6回ゴルフコンペ	14
平成12年度決算報告	6	募金ご協力のお礼	15
平成13年度同窓会理事・監事名簿	7	事務局便り・編集後記・協賛広告	16

ご挨拶

会長 三木 憲三

(昭和23年卒)



母校の現況

校長 林 敏夫



2001年という新しい世紀に入りましたが、北陽同窓各位には、ますますお元気で各方面でご活躍されていることとお喜び申し上げます。

又、平素から同窓会活動に対してご支援並びにご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

振り返って昨年は、母校創立75周年の節目を迎え、この祝う会を兼ねた総会を11月4日新阪急ホテルで230名の同窓と来賓70名で300名という多くの参加を戴き、盛大に開催いたしました。この祝賀会には学校法人福武道裕理事長始め法人理事、又北陽高校より林校長以下50余名の教職員も出席していただくとともに、それぞれの先生方からも教え子に声を掛けて集めて頂いたという初めての試みに大変盛り上がると共に、学校法人・北陽高校・北陽同窓会の三者が一堂に会して、師弟が、同窓が、学友が旧交を温め、交流を深める機会をもつことができた誠に意義あるものがありました。

本年、同窓会役員の改選期にあたりましたので、去る4月7日に理事会を開き役員改選を行い、4月21日の代議員会で承認を受け、別記役員名簿の通り決定いたしましたことを報告しております。

これにより私も又一期2年間、会長として同窓会運営に携わることになりました。

私が平成6年に会長に就任以来、北陽同窓会の基本的進め方につき申し上げてきましたことは「全ての卒業生を対象に同窓会活動を推進する」ことで、①毎年同窓会報を発行し全ての会員におくる。②5年ごとに新しい会員名簿を発刊する。③数年ごとに同窓会としての総会を開く、又その他親睦行事を開催する。等のことありますが、同窓会各役員のご尽力と会員の皆様のご協力によりまして、当初描いた路線を進めてまいることができました。

今年2001年という新しい世紀に入り、母校北陽高校では今年の卒業生522名を含め30,075名と遂に3万名を超える人々を世に送り出されました。

これらの多くの卒業生を有する同窓会においても母校とともに21世紀は更なる前進、発展をして行かなければならぬと決意を新たにしている次第です。

今後とも、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝を心よりお祈り致します。

同窓の皆様にはお変わりなくご健勝のこととお喜び申しあげます。また、平素は母校のために何かとご高配を賜り、深く感謝いたします。

わが北陽は昨年創立75周年の節目に当たり福武幸吉理事長がご逝去、代ってご子息の福武道裕氏が新理事長に就任されました。時あたかも新世紀胎動の年、新体制のもと学園関係者が一体となって、北陽の発展に力を尽くさねばならない時だと痛感いたします。

現在わが国の教育界では、戦後社会積年の病弊が顕在化し、憂慮すべき事態があちこちに出てまいりましたが、その最たるもののは教育水準の低下であります。戦後の復興は国民の英知と勤勉の賜物だと称賛されたのは既に昔のことで、今では学力、徳性、耐性のすべてにわたって低下が目立ち、わがまま勝手な欲求と感覚が優先して、理性による抑制力が貧弱になっています。いつの間にか急に住みにくい世の中になったと誰もが実感するようになってしまいました。このような危機意識を抱きながら、北陽の教育の在り方を思う時、私はいつも76年前の建学の精神に立ち帰らざるを得ません。真摯な学習指導、堅実な徳性の涵養、体力と耐性を養う不斷の努力。この知・徳・体の調和を実践する教育を強力に推進していくことが北陽の王道であると確信します。幸い教職員一同この北陽の伝統を体しして日々精進しております、そのお蔭で、卒業生の進学・就職の実績も着実に伸びています。また、平成15年からの教科課程改訂を控え、現在北陽独自の特色づくりの再構築作業を急いでいるところです。

平成13年5月現在、生徒数1,242名、学級数32クラス、教員は専任59名、非常勤講師26名、職員12名で、学校規模は今後少しずつ縮小せざるを得ないと思いますが、あらゆる困難を克服して、面倒見のよい堅実な校風は堅持してまいります。

クラブ活動は相変わらず活発です。既に全国高校総合体育大会（インターハイ）に出場が決定しているのは、サッカー部と陸上競技部（走り高跳び）ですが、水泳部も有力候補として残っています。その他、ハンドボールは近畿大会に出場、硬・軟式の両野球部はともに秋季の大会を控えて、猛練習中です。

その他では、先ず3年の福岡雄大君がクラシックバレエで世界に初挑戦、先月フィンランドのヘルシンキで開催された国際バレエコンクールに出場、ジュニア男性部門に入賞、優勝は惜しくもドイツ代表に譲ったものの、世界2位に輝いたのは立派でした。また、今春卒業した末広龍太郎君が「ミナミの街を守って行こう」という題で読売新聞の読書欄に投稿、1万8,040点の中から第1等の大賞に輝いたことも特筆に値しましょう。

以上後輩たちは元気で頑張っています。どうか皆様もいつもご健勝で、母校を見守っていてくださいるようお願い申しあげます。

母校創立75周年を祝う会



母校創立75周年を祝う会を昨年11月4日(土)新阪急ホテル紫の間で開催し、学校、PTA、同窓会が一体となり20世紀の締めくくりとして盛大に行なわれました。(参加いただいた人名は次ページに記載)

式典に入り同窓会三木会長の挨拶につづき福武理事長、林校長からの祝辞をいただき、貢献者への感謝状の贈呈のあと、大型スクリーンに映し出されるビデオで「北陽70年の歩み」と各界で活躍の同窓のコメントビデオに移る。あと、長崎慶一氏(昭44年卒)からシドニーオリンピック野球のコーチとして参加した話を伊藤史隆アナウンサー(朝日放送)の質問に応える形式で約40分会場の同窓にもわかり易く説明をいただき裏話を含め楽しく聞かせて貰う。懇親会では母校ジャズオーケストラ演奏と伊藤アナウンサーが会場の中から壇上に引き上げ思い出話、とっておきのエピソード等を披露したあと、お楽しみ抽選会を行い、閉会とした。

(塩田)

母校創立75周年を祝う会

出席者御芳名録

（本会は、北九州市立高柳小学校の創立75周年記念事業の一環として開催される。）

〔現教職員〕		岩 永 宏 光	上田 勉(S26)	須上 勝久(S37)	松永 勝(S43)	中西 忠彦(S53)
林 大 谷	敏 宗 平	伊 藤 彰 祥	大 谷 志 邦(S26)	瀬 谷 崎 賢 治(S37)	小 林 俊 治(S44)	新 田 和 男(S53)
曾 服 部	根 地 伸 一	西 村 拓 也	岡 田 勉(S26)	村 田 正 明(S37)	利 川 元 善(S44)	山 本 耕 司(S53)
桑 依	田 定 利	藤 森 雅 隆	岡 本 得 三(S26)	山 下 松 男(S37)	松 上 利 男(S44)	呉 山 昌 寿(S54)
倉 石	英 昭	松 村 隆 平	平 孝 雄(S26)	十 時 良 雄(S37)	河 本 伸 二 郎(S44)	下 島 通 人(S54)
長 谷 川	清 和	小 坂 升	徳 岡 弘 志(S26)	大 矢 登(S38)	長 崎 慶 一(S44)	吉 井 寛(S54)
横 田	道 正	福 武 啓 一	畠 孝 男(S26)	中 谷 享(S38)	安 田 恵 吉(S44)	中 山 義 浩(S54)
西 田	末 義	中 向 登 美 子	福 島 嘉 雄(S26)	岡 部 守 隆(S39)	名 古 全 弘(S45)	新 井 勇(S56)
山 内	直 行	澤 田 渉	盛 田 健(S26)	越 川 升(S40)	井 上 均(S46)	池 友 久(S56)
浦 垣	健 一	新 納 弘 治	山 口 恵 司(S26)	八 木 幸 王(S40)	佐 野 登(S46)	富 水 和 彦(S56)
米 川	修 二	〔旧職員〕		山 脇 義 信(S26)	池 田 憲 一(S40)	杉 本 秀 央(S57)
佐 野	正 史	金 澤 勇	吉 田 貞 雄(S26)	岸 見 昭(S40)	津 坂 隆 利(S46)	川 合 浩 幸(S58)
田 中	章 介	松 下 升 司	大 森 良 通(S26)	水 田 稔(S40)	仲 江 房 一(S46)	朝 間 浩 行(S58)
手 島	正 雄	金 澤 洋	杉 山 友 洋(S26)	久 須 美 嘉 宏(S40)	西 岡 英 治(S46)	石 井 栄 次(S58)
河 合	剛 二	萩 原 韶	中 田 学(S27)	中 田 稔(S40)	竜 忠 夫(S46)	内 田 長 己(S58)
鈴 木	清 士	松 岛 知 昭	金 本 太 仙(S28)	竜 美 哲 夫(S41)	細 川 憲 秀(S46)	奥 村 邦 之(S58)
鈴 木	和 宏	松 岩 英 孝	田 村 真 佐 雄(S30)	川 口 義 雄(S41)	山 内 悅 次(S46)	陰 晃 一 郎(S58)
渡 辺	幹 夫	〔卒業生〕		喜 多 憲 治(S41)	国 本 東 哲(S46)	杉 本 健 一(S58)
棒 谷	啓 二	古 田 金 市(S7)	藤 井 重 成(S31)	橋 口 博 兼(S41)	浅 野 正 二 郎(S46)	釣 井 啓 孝(S58)
加 納	英 志	岩 崎 悅 治(S17)	南 (山本) 隆 義(S31)	窪 田 喜 久 男(S41)	神 垣 雅 行(S46)	野 川 敏 也(S58)
岩 田	英 世	藤 澄 升(S17)	小 郷 政 夫(S33)	西 本 太 一(S41)	東 朗(S46)	木 下 俊 崇(S58)
竜 波	和 幸	奥 田 正 道(S18)	神 山 興 二(S33)	橋 本 幸 一 郎(S41)	堤 (S46)	中山 善 光(泰 力)(S59)
森 島	了 俊	鶴 川 権 治(S20)	河 原 茂 良(S33)	浜 田 康 雄(S41)	市 原 (S46)	田 村 大 作(S59)
松 岩	正 喜	石 川 修(S21)	小 林 栄 三(S33)	船 見 憲 夫(S41)	安 村 清 志(S47)	宮 下 政 明(S59)
石 坂	喜 一	井 上 三 二(S21)	松 田 勉(S41)	松 田 忠 政(S41)	片 阿 広 明(S49)	松 島 崇 之(S61)
林 前	貞 俊	木 村 光 延(英造)(S21)	橋 本 和 男(S33)	福 岩 盛 幸(S41)	中 村 守 和(S50)	密 原 宏 信(S63)
田 亀	時 季	秦 間 五 郎(S21)	橋 本 和 男(S33)	内 海 (S41)	松 本 勝 隆(S50)	川 崎 勝(S63)
田 正	則	平 田 幸 次 郎(S21)	細 見 幸 博(S33)	足 立 宗 央(S42)	浅 田 俊 和(S50)	西 村 栄 一(S63)
下 村	信 博	元 原 明 弘(弘 雄)(S21)	丸 山 一(S33)	岡 野 重 信(S42)	加 門 正 人(S50)	加 藤 航(H2)
大 田	基 弘	山 田 謙 彦(S21)	岡 田 博(S33)	中 田 品 詞(S42)	中 尾 明(S50)	勝 里 和 彦(H2)
関 口	裕 二	廣 薫(王 薫) 葦 一(S22)	高 島 清 助(S33)	松 本 純 一(S42)	中 川 忠 繁(S50)	加 藤 衛(H8)
岩 内	日 出 男	繩 间 寧 三(S22)	吉 田 健(S33)	船 尾 義 明(S42)	清 水 雅 彦(S50)	岩 佐 兼 一(H8)
吉 武	章 治	栗 田 文 古(S23)	岩 本 元(S34)	橋 本 和 行(S42)	内 藤 昭 一(S50)	権 藤 誠 一(H10)
内 田	正 人	内 田 二 三 男(S23)	清 水 泰 宏(S34)	村 上 二 郎(S42)	小 西 敏 幸(S51)	加 門 大 嶽(H11)
山 田	均	日 下 義 治(S23)	生 島 博 史(S35)	庄 田 新 一(S42)	岡 田 彰 布(S51)	篠 原 豪(H12)
松 岡	克 己	久 保 啓 治(S23)	塙 田 修 三(S35)	寺 田 賢 作(S42)	森 田 誠(S52)	稻 田 研 太(H12)
山 口	は や と	西 仏 之 光(S23)	竜 田 洋(S35)	林 修 平(S42)	足 立 哲 治(S52)	
宮 前	博 行	佐 々 木 清(S23)	溝 口 富 寿 雄(S35)	新 城 健 吉(S43)	魚 住 敏 明(S52)	
吉 谷	好 善	武 田 昭 夫(S23)	山 本 正 明(S35)	清 酒 直 一(S43)	平 井 佳 夫(S52)	
山 添	修	仲 上 一 一(S23)	木 村 洋 一(S35)	西 野 文 夫(S43)	八 木 知 之(S52)	
石 神	賢 一	棕 本 忠 次(S23)	前 田 省 三(S36)	池 田 広 治(S43)	横 田 広 司(S52)	
村 上	雄 一	三 木 憲 三(S23)	井 上 久 雄(S37)	古 謙 伸 雄(S43)	辰 川 幸 男(S53)	
			大 矢 武 男(S37)	内 海 昭(S43)	渡 辺 久 哲(S53)	
				島 上 茂(S43)	大 山 口 裕 隆(S53)	
				桧 坂 義 広(S43)	奥 田 悟(S53)	
					德 山 明 夫(S53)	

◇ 第24回代議員総会開催 ◇



第24回代議員総会が、4月21日(土)午後4時から、母校会議室で45名の代議員の出席で開催され、東京支部より小林支部長と内海事務局長が出席された。

代議員総会は、依藤事務局長の開会の言葉で始まり、物故者への黙祷、校歌を齊唱し、続いて三木会長の挨拶があった。昨年の「母校創立75周年を祝う会」を盛況裏に行えたことに対するお礼の言葉、特に校長はじめ、先生方、PTA役員の出席をいただき、三位一体の祝う会開催となったことに意義があったと。

引き続き、林校長先生がご挨拶され、少子化による生徒数の減少に対処するための学校経営の見直し、魅力ある学園運営への決意を述べられた。

本題の同窓会活動の報告ならび決算の議案を、栗田副会長を議長に選出し審議に入る。12年度の事業報告と収支決算について検討され、代議員により承認可決された。

また、東京支部の内海昭事務局長から、東京での活動状況が報告された。

職員食堂での懇親会は、大谷教頭の挨拶ではじまり、村田先輩の乾杯の音頭で、母校の益々の発展と、同窓生の健康を祈念し、懇談に入る。校長をはじめ三木会長を含む理事と代議員の年代を超えた会話、学校の現況等について活発な意見交換を交え、なごやかなうちに終宴となった。

(塩田・記)

■平成12年度 同窓会決算報告

自 平成12年4月1日
至 平成13年3月31日

収入の部

科 目	予 算	実 績	摘要
前期繰越金	14,248,687	14,248,687	
会 費	2,600,000	2,580,000	
代議員会費	200,000	190,000	
会員協力金	1,200,000	1,400,000	
会報広告収入	300,000	140,000	
受取利息	21,000	14,539	
雜 収 入		43,541	
合 計	18,569,687	18,616,767	

支出の部

科 目	予 算	実 績	摘要
会議費	130,000	145,874	
代議員会費	200,000	174,710	
協力金	250,000	250,000	
人件費	500,000	380,800	
交通費	70,000	60,000	
消耗費	100,000	91,432	
通信費	1,300,000	1,296,080	
慶弔費	100,000	94,982	
雜費	10,000	44,802	
75周年記念式典費	0	389,406	
予備費	300,000	300,000	
事業費			
会報発行費	1,100,000	1,359,812	4ページ増
協力推進費	60,000	60,628	
事業運営費	100,000		
小計	4,220,000	4,648,526	
次期繰越金	14,349,687	13,968,241	
合計	18,569,687	18,616,767	

■平成13年度 同窓会予算

収入の部

科 目	金 額	摘要
前期繰越金	13,968,241	
会 費	2,350,000	470名@5,000-
代議員会費	200,000	40名@5,000-
会員協力金	1,400,000	前年度実績
会報広告収入	140,000	前年度実績
受取利息	14,000	前年度実績
合 計	18,072,241	

支出の部

科 目	金 額	摘要
会議費	80,000	
代議員会費	200,000	
協力金	250,000	
人件費	280,000	
交通費	160,000	
消耗費	89,000	
通信費	1,269,000	
慶弔費	60,000	
雜費	10,000	
予備費	100,000	
計	2,498,000	
事業費		
会報発行費	1,100,000	
協力推進費	60,000	
事業運営費	170,000	
組織強化活動費	200,000	
計	1,530,000	
小計	4,028,000	
次期繰越金	14,044,241	
合計	18,072,241	

平成13年度 北陽高校同窓会理事・監事名簿

ご挨拶



PTA会長 西村 慶太

このたび、同窓会より発刊しておられます同窓会報に掲載させて頂く事と成りました。

今年度、北陽高等学校PTA会長に就任させて頂きました西村です。宜しくお願ひ申し上げます。日頃はPTA活動について、ご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私事では御座いますが、皆様方と同じく北陽高等学校を卒業致しまして本年、長男が北陽高等学校に御世話に成る事と成り、何か嬉しいやら恥ずかしいやら複雑な思いで24年ぶりに入学式に出席致しました。また、この大役を任せられ諸先輩方に恥じる事の無いように、初心の気持ちで勉強を重ねて皆様方の御期待に応えられるように精進努力させて頂きます。未熟な私ですが皆様方の厚いご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。

本年度のPTA活動方針と致しまして、3項目の活動方針の承認を頂き本年度をスタートしております。

北陽PTAは、「教える、学ぶ、育てる—教師・生徒・父母の願いはひとつ」の精神を踏まえております。子供に対する父母の願いは一つだと思います。今、子供を取り巻く環境、そして社会が大きな転換期に差し掛かろうとしているのは間違いないありません。

小泉総理大臣の掲げる「構造改革」がいよいよ本格的に始動しようとしています。色々なご意見も有ると思いますが、この構造改革が実施される事により、政府の発表では13万人～19万人の失業者が出ると言われていますが、一般企業調査によると多い所で50万人～100万人もの失業者が出ると言われています。この様な社会で大変だと思われませんか？ その社会にこれから巣立って行こうとしている子供たちにとっても険しい、本当に厳しい時代に成るのは避けられないと思います。本当に現存の今まで子供達の夢は通うのでしょうか？ この今まで良いの

でしょうか？

教育、教育と言うのは簡単ですが、本当は難しい問題だと思います。教育の文字を辞書で調べてみると、教育てこと。人を教えて知能をつけること、人間に他から意図(目的)をもって働きかけ望ましい姿に変化させ、価値を実現する活動と解説されています。これまた難しいと思いませんか？ 別々の文字では、望ましい：そうあってほしい。ねがわしい。価値：物事の役に立つ性質。実現：実際にあらわれること。活動：はたらき動くこと。いきいきと行動すること。と解説されています。何か教育について見えてきますか？ 最近よく、近頃の子供は自分で考える、判断する、行動する、怒らないと出来ないとか意欲が感じられないとか、よく口にされると思いますが、私達の子供の頃を思い出して見てはいかがでしょうか？ そうです私達にも子供の頃が有りました。そして今、私達は親の立場で物事を考えて子供に接しているのではないでしょか？ それで良いのでしょうか？ もう一度、子供の頃を思い出してみませんか。子供に対して親が手本に成らないといけないのではないでしょか。親だから、子供だからと簡単に物事を片付けるのではなく、普段着のまままで子供の目線で膝を付き合わせて対話する事も大切ではないでしょか。子供の素直な気持ちや意見を引き出す事が大切であり、それには童心に帰り親と言う大きな壁を取り除く必要が有ると思います。ふだん着のまままで子供に接する、声をかける、何か忘れていた物が見えてくるのではないでしょか。親が子供に教わる事も沢山有ると思います。自然のままに親も子供もお互いに認め合い、接する事が大切だと思います。

自分から出来る事をする。今からでも遅くないと思います。真剣に教育について考え、重みを実感し頑張らなければならぬと思います。私の好きな言葉で、「やらへんから、でけへん」の気持ちで出来る事から頑張りましょう。行動に移さないと結果が出ないと思います。行動に移すのが大切な事ではないでしょか。良いと気づいたら今から始めること、動くことだと思います。

北陽高等学校の教育方針として掲げる「知・徳・体の調和した円満な人間性の形成を目指す」いつの時代に成っても大切な事だと思います。この時代を乗り越える為にも、子供達に頑張って頂き、私は、子供達のサポーターと成りエールを送り続けたいと思います。北陽高校の発展向上の為にも皆様方の御理解を頂き、ご協力賜りますよう宜しくお願ひ申し上げます。

平成12年母校進路状況

■進路先割合

	大学進学	短期大学進学	専門学校進学	就職	未定	合計
人数(名)	327	15	59	69	52	522

■平成13年度入試大学合格者人数

☆国公立

大学名	推薦入試		一般入試		今年度合計	昨年度最終計
	文系	理系	文系	理系		
同志社			1		1	0
関西学院	1		5	1	7	0
関 西			1	1	6	1
立命館			1	2	3	1
京都産業	1	4	5	27	37	14
近 議	2	4	7	1	20	12
甲 南			1	2	2	5
桃山学院	2	2	7	2	14	6
神戸学院	10	6	1	2	20	8
大阪経済	7	3	4	2	17	10
関西外国語	2	2	1	2	2	5
摂 南	1	4	2	4	3	1
追 手 門	31	12	6	2	53	13
英 知	1				1	11
大阪学院	2	27			29	37
大阪経済II			2	4	6	1
大阪経済法科	1		1	1	3	11
大阪芸術	2	3	1	1	7	9
大阪国際	4	1		3	8	16
大阪工業	1	1			2	2
大阪産業	1	33	15	2	48	48
大阪商業	16		3		19	31
大阪体育	1		1		2	1
大阪電気通信		6			6	12
大阪人間科学		2			2	0
大阪明淨	6		1		7	1
大 谷	1				1	2
大 手 前	16				16	13
関西福祉科学				1	1	0
京都学園	6		1		7	31
甲子園	1	3		1	5	6
神戸国際	2		2	1	5	7
種智院	4				4	1
成安造形	1	1			2	0
相 愛	6		1		7	2
宝塚造形芸術	1				1	3
帝 塚 山	3		1		4	10
天 理		1			1	0
常磐会	1				1	0
奈良産業	3	2	1		6	10
奈 良	1			1	2	0
阪 南	34		4		38	20
姫路獨協	2	1	2		5	3

大学名	推薦入試		一般入試		今年度合計	昨年度最終計
	文系	理系	文系	理系		
仏 教	1	2			3	2
南 大 阪					1	2
流通科学					2	1
☆山 口					1	0
☆和 歌 山					1	0
☆鹿 尾 島					1	0
☆茨 城					1	0
☆神 戸 商 船					1	0
早 榴 田					1	0
青 山 学 院					2	1
法 政					1	0
駒 沢	1				1	0
中 央					1	0
拓 稲					1	0
東 海	2				2	0
四 国 学 院					1	0
鈴 鹿 国 際	1				1	0
第一薬科			1		1	0
吉 備 国 際	1				1	1
松 鮮	1				1	0
中 部			1		1	0
中 央 学 院	1				1	0
くらしき作陽	1				1	0
東 亜	1				1	1
徳 島 文 理			1		1	0
西 日 本 工 業					0	1
福 岡					0	1
福 岡 工 業			1		1	0
別 府	1				1	0
四 日 市	1				1	0
山 陽 優 素 大	1				1	0
神 田 優 素 大			1		1	0

合計 21 29 31 48 59 3 0 43 2 9 30 7 502 457

母校・クラブニュース (1)

「新聞部」

新聞部顧問 吉武章治

新聞部の活動の中心は、パソコン新聞「北陽かわらばんエクスプレス」の発行です。クラブ活動の成果や食堂問題、また先生や生徒へのインタビューなど、校内の話題を中心に、月1回発行しています。また文化祭では、毎年大きなテーマに取り組んでいます。



「北陽高校柔道部の現況」

柔道部・部長記

北陽高校柔道部は現在部員数21名（うち、3年生5名はすでに6月23日の大会で引退）で、林貞俊先生のもと毎日練習に励んでいます。

昨年は久しぶりに近畿大会に出場できました。日常の戦績は、北地区大会（府下4地区に分かれています）で優勝もしくは、準優勝を果たしています。府下の強豪が集まる中央大会でベスト8が今のところわが柔道部の実力です。清風高校、上宮高校あたりに勝ることなく、どう挑んでいくかが課題といえます。今後一層努力を重ねて立派な戦績を残したいと思います。ご期待ください。



母校・クラブニュース (2)

「美術部」知的ムードを楽しむ場

最近の傾向ですが、これは美術部だけでなく文化部全体について言えることですが、新入部員の確保が大変むずかしい状況にあります。すんで絵を描いてみたいという生徒が少なくなり、寂しいかぎりです。

その中で美術部は、日常活動になにより自由な幅を持った素材として、油彩画をベースに置いて活動しています。

絵を描くということは、誰もが感じることだと思いますが、絵を描くたびに幻滅、悲哀を感じながら描いている場合がほとんどと言つてよいかもしれません。

しかし、ときたま自分の思い通りの絵が描けたりすると、すっかりうれしくなって、誰かれなしに見せてまわったりします。

本人は、まさに大芸術家になった気分で有頂天になる一瞬です。又、同じ部員たちと、絵を通して苦心談に花咲かせるのも楽しいひとときだし、キャンパスにむかって、ここはこう描いてやろう、この色が良いなどと構想をねる間は、とても楽しい時間となります。描き上げた絵がつまらないものでも、頭の中は一流の画家にも劣らないようです。恰好や道具だけは本職並みであっても、絵はいっこうにと言わないで下さい。

絵を描くというプロセスを通じて知的ムードを楽しむ、それが我、美術部の良いところかもしれません。



同窓の近況 (1)

「昭和35年卒業、恩師八田先生を偲ぶ会」

竜田 洋 (昭和35年卒)



在りし日の恩師八田先生



後列左より 喜多睦詞、鎌田吉二、末廣健治、山口勝三、中上聰明、
中列左より 大石利夫、義永忠孝、柳原恒郎、山本正明、
前列左より 大山賢造、西岡達郎、溝口富寿雄、竜田洋、

(敬称略)

同窓の近況(2)

「昭和35年度卒業3年C組荒賀学級同窓会」

森本良彦(昭和35年卒)

7月8日(日) ホテル阪神キュイジーヌ・ネン、21名の出席者が久しぶりに集う。宴席の途中、担任・故荒賀正太郎先生初め、人生の宿命ともいえる物故者となられた級友の冥福を祈り、1分間の黙祷。再び宴席に、木造校舎から円型校舎で共に3年間学び、すっかり白い物が目立ち、体形も変った級友、40余年の歳月を感じる。面影あれど名前が浮ばない。あらためて自己紹介を兼ね近況報告となり、家族の話、孫の話と話題はつきない。時間のたつのも忘れ、いつの間にか学生時代にタイムスリップ。盛大に楽しい集いに時間を惜しみながら、次回の再会を約束してお開きとなる。



ありし日の荒賀先生ご夫妻

土肥田 黒辻 杉塩 矢出 浜飯 増坂 永工 天北 牧吉
原田 谷原 元田 山野 森藤 野野村
森生田 橋本 島辺本

^後列
▼前列

「S26同期会」淡路島へ一泊旅行

岡田 勉(昭和26年卒)

5月27日(日) 昭和26年卒の同期生9名が、淡路島の南端にある南淡町灘へ一泊旅行にでかけた。

朝10時に大阪駅前を高速バスで出発し、12時に洲本市に到着。

6年前に阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた地域の西宮一神戸を経て、明石海峡大橋を渡り岩屋一北淡町を通過したのであるが、車窓からであったが被災地はすっかり復旧している風景が見られ、不況の厳しい経済情勢の中、今更ながら日本の技術の素晴らしさや国力を再認識する。

洲本市で昼食をとり、民宿の出迎えの車に乗り目的地の「おれんじ荘」に入る。

到着後、昨年9月に同期会の暫定的な会則を有志で作ったが、内容的に見直す必要があり、約1時間かけて打ち合わせを実施する。

待ちに待った宴会は夕6時から始まり、民宿の自慢料理である新鮮な魚貝類の御馳走が食卓を彩り、特に鮮の活け造りや石鯛の煮付けの美味に舌鼓を打ちビール・冷酒が一段とすむ中、カラオケのマイクを取り合い年齢もわざで全く童心に返り、実際に楽しい一刻を過ごすことができた。

翌日は、地元の土生港より対岸にある周囲10キロの小島「沼島」に渡り、史跡を散策し、楽しかった同期会の旅行日程が全て修了、午後3時頃に大阪へ帰り着き、再会を約束し解散する。

遠路、東京から畠孝男君が毎回参加してくれ、同期会の推進役としての活躍に感謝致します。

本年4月から同期会の代表幹事に吉田貞雄君と幹事に岡本得三君・山脇義伸君が選ばれましたのでお知らせ致します。次回の同期会を楽しみにお待ち下さい。



山脇 上田 岡田 畠 大森
山口 徳岡 吉田 岡本
（貞）

^後列
▼前列

同窓の近況(3)

「恒例・東京支部の親睦会」

東京支部事務局長 内海 昭(昭和43年卒)

平成13年3月23日、銀座Sun-mi高松にて開催。

本部から神山会計、足立理事を迎えて、計19名の参加者となりました。いつもの顔ぶれの他に新しく中西(S33卒) 永井(S41卒) 国府島(S45卒) 氏が加わり、なごやかな会となりました。



実重(S.40) 国府島(S.45) 永井(S.41) 内海(S.43)
神山(S.33) 菊野(S.17) 小林(S.33) 中西(S.33) 十時(S.37)
糸井(S.16) 宇野(S.16) 西尾(S.24) 足立(S.42)

於、銀座Sun-mi高松
5F「紫雲」の間

『小説的体験記』

服部泰平(平成9年卒)

人から「小説を書き始めた理由は?」「作品のコンセプトは?」と聞かれる度に、臨機応変に答えている。状況に合わせ相手が喜びそうな、例えば今を憂う年輩者の前では私も憂い奔放に生きる若者の前では、私も旧態依然とした社会を批判してみせる。それは、営業トークであると同時に様々な価値観とリビドーの受け皿となるのが小説だと思っているからだ。

しかし、おべんちゃらを抜きにして、斯くて1冊の本を世に問うことが出来たのは、北陽高校の国語の授業で小論文を勉強し文章を書く楽しさを知ったからであり、担任はじめその他の先生方のお陰で大学に合格し大学で小説を書き上げるのに必要な文章力を身につけたからである。感謝申し上げる。

今や一家に一台どころか一人一台テレビがある時代だ。テレビは、NHKの受信料を除けば無料で楽しめる。電源を入れれば苦労もせず、食事しながらでも寝転がりながらでも何を見るでもなく見、何を聞くでもなく聞き頭の中に入ってくる。

何でも売っているコンビニで全ての生活をまかなかおうとする様に、現代はテレビで世界の全てを済ませようとする。

——なぜか?

楽だからであり無料だからである。それに比べれば小説は書店でお金を出して買わなければならないし、ページを捲って読み進めるのも楽ではない。テレビに太刀打ちできる筈がない。

だが小説に関わる人間として一つ書籍に有利になるように言うなら、テレビやインターネットから得られるものは「情報」だけである。しかし本を読むことで得られるものは「経験」である。

登山に例えよう、ある山の頂上から見渡せる素晴らしい絶景はテレビに映し出すことが出来る。

ところが、苦労して山に登りのどが渴き、足が棒になり疲れ切って頂上にたどり着いて、その疲れを吹き飛ばす程の見晴らしをテレビでは味わえない。

なぜなら、それは見晴らしという「情報」ではなく山を登るという「経験」だからである。本当に感動したいなら、手軽な「情報」ではなく苦労して得られる「経験」をするしかない。

昨今は、テレビに押されて書籍は売れない出版不況である。活字離れである。最後に一つ付け加えるなら統計的に活字離れが進むにつれ、世相は荒廃している。本をよむという事を今一度見直すべき時が来ていると言えよう。

欲を言えば、拙書【服部泰平著「切手のない手紙」発売元株式会社 (ISBN4-8355-1120-4 C0093 ¥1200E)】で良い「経験」をしていただきたい。

全ての人の人生が「経験豊か」ならんこと祈って筆を置く。。。



第6回 北陽同窓会ゴルフコンペ開催

第6回目を迎えた同窓会ゴルフコンペが、8月28日(火)スポーツ振興カントリー倶楽部(猪名川コース)で開催された。(6237ヤード
パー72)

前週に大型の台風11号がやってきて近畿中南部を暴風域に巻き込み、八月半ば過ぎに大型の台風が近畿圏を襲来したのは近年に無いことであるが、被害が軽微であったことは幸いであった。

ゴルフ当日は、好天に恵まれ若干温度も低く夏日のプレーには最適であり、100名以上のエントリーがなされ、学園からは福武理事長や西岡理事、学校からは現役とOBの先生方の一部と、毎回遠路高知から来て戴いた硬式野球部・松岡前監督と、同窓会の先輩・後輩達との久々の交流が団結して大変有意義な楽しい一日を過ごすことができた。

競技終了後同倶楽部において、三木会長の挨拶でパーティーが始まり参加戴いた方々との懇やかな懇談が続き、ゲストとして元阪神タイガースのコーチ一枝さんや、室山さん、三宅さん、現スカウトの佐野さん、並びに元南海ホークスの橋口さんも懇談の中に入って戴きパーティーが大いに盛り上がる。

引き続いて表彰式では、賞杯や各等賞の賞品授与の外今回もゲストや卒業生の方から頂戴した、いろんな賞品を抽選で配分し賑やかに今年の同窓会ゴルフコンペも大盛会で幕を閉じることが出来た。

最後にゴルフ場並びに同窓会ゴルフコンペ会に携わって戴いた方に厚く御礼を申し上げます。

(記 岡田 効)



競技成績

			GROSS	HDCP	NET
優勝	西本太一(S41年卒)	99	28.8	70.2	
2位	渡辺雄二(ゲスト)	83	12.0	71.0	
3位	田辺佳司(S54年卒)	89	18.0	71.0	
4位	林恒夫(S44年卒)	88	16.8	71.2	
5位	口村茂(S46年卒)	84	12.0	72.0	
BEST GROSS	古川俊幸(ゲスト)	78	3.6	75.4	



ご協力のお礼

協力金推進委員会

平素は同審査会発展にご協力賜りましてありがとうございます

前回発行しました会報に掲載させていただきました以降にご協力いただきました方々の氏名を掲載いたします。今後共よろしくお願ひ申し上げます。

銀行口座振込者

布三弘昭 彩興予師浩 雄明
田山原村路島田 岡神阪田中福村
一正樹洋行雄之 良川直成康康
神尾根田海田永 牛神坂竜東浜宮
雄弘信夫美男三 春敏和晤克芳憲
江勢森岡西本木 入嘉小武寺西三
嶺井林梨田本永蔵 榴櫻小高寺西松依
幸博治彦作一哲利 盛武俊昌賢太英定
第一富明治夫晃健 龍光末真和正
島木林島田田島 生柿小城津西松吉
吉昭二三郎夫郎己 文則啓修一昭三勝
栗尾木垣佃西堀山 田上村田川川崎

郵便振込者

久二三(宏)洋雄昭吾之哉雄彦晴一明隆裕三之一弘一仁宏正治茂弘保生
友三昭之孝則正康俊不敏良二地弘要寧裕客稳慎幹基清良真智
上田博芝本上村本下村玉野本(北井川間田田田川浦村岡田本口本信
池井上宇大岡尾金河木木兒佐杉高寺中繩西延平藤細松松水村森山山吉成
司幸次穩滿一一保仁仁男郎広巖雄一次司嗣雄義勝勇作三央富夫彦治
隆盛広春耕正章伸孝一行孝義昭忠誠幸文重櫻昭憲紀孝芳勝義
川嶺田野川田上田西寺村柏藤本田藤本田田野川野(村木上田川田田
飯稻上宇大岡尾金川木木小佐杉平津内椋西野引藤星松松三村森山山吉
夫雄也昭夫通彦仙雄一夫夫昇明之豐二昌勇治藏成明樹郎行一則也二健
俊文貴忠良須太一慶信武末裕村繁祐光良重信直民弘順光明雅
木垣川海枝森(本中川村庵下島川谷(井木田沢根井柏吉原市上田川下田
荒稻上内大大小小金川北木稽坂城十辻鳥梨西野東藤法又松見村森柳山吉
男輔治次營行広純茂三一雄光廣正治夫榮男稔男嗣市男正一郎史夫一
忠伸悅種文良正克公洋好之一嘉孝哲正忠次清金雅登清(明秀健
東崎山藤松田井上田村田佐原石野島村島本嘉田野原山所則下山
東伊岩内遠大尾金川木木黒西下仙丹富中西西比藤古牧松丸向森康山横
正弘(米)田二繁健正平浩克(英造)精和希淳良守芳敏和浩裕義達正久
井(米)田井(開)光光田田合森田部原時村川本川嶋津田田山前宮下樹
東糸今内浦大奥勝川北木典小柴瀬竹十中西西長福振前松丸宮森安山弓
男一一男薰和明弘治治介城勝徳治之善夫悟之夫男一雄司男一
治隆信良佳正敏孝憲大成広善智元正(厚)英顯治清利純孝(弘健定采
井川西原森谷川勢谷多原林林津木川川村達村本島場口上本野明木崎上
浅石今氏梅大小喜木栗小塙鈴竹利中西西橋福札堀松松宮元箭山由
一雄平一次宏一郎男生平久男保夫男男人男行男弘大生充祥豐義明吉己明志
洋秀孝古作浩尚(川)良良保(月)正道照拓一高一幸満卓宰永隆(本)正広勝正政
坂見上田浦田本川(野下)久藤田木間上谷尾村本瀬田岡岡村(山田本崎本原
相伊井上姥太岡梶神菊木葛後沢鉢高道中西西橋広藤堀松松南村森山山吉

事務局便り

母校創立75周年を祝う会の開催については、学校・同窓会・PTAのご協力により、盛大に行われたことお礼申し上げます。ゴルフ会も益々同窓の参加が増え、盛り上がりをみせています。

なお、学校ホームページが開設されていますので一度ご覧下さい。

<http://www.hokuyo-h.ed.jp>

先生方の異動(定年退職)

曾根地之先生 平成13年3月31日付(勤務期間38年)

各先生方におかれましては長い間、ご苦労様でした。今後のご健勝をお祈り致します。

川村忠敬先生 平成13年3月31日付(勤務期間32年)

編集後記

広報委員長(会報)の交替による御挨拶

副会長 岡田勉(昭和26年卒)

平成7年、同窓会が初めて主催する「母校創立70周年を祝う会」の準備に各理事が大わらわの6月に、会計と会報を担当されていた皆川理事が急逝され私が会報を引き継ぐ事になりました。

当初不慣れなため、鶴川先輩のご指導や周囲の皆様方のご支援により助けられたことを心より感謝致しております。

また取材や編集についてご協力を頂いたお陰で、平成12年度まで6年間に会報「北陽同窓」8誌と「母校創立70周年特集号」(新聞)を発行させて頂き、ご愛読賜り誠に有り難う御座いました。

会報を担当する広報委員長として、大過なく任務を終えますこと同窓会員の皆様方に厚く御礼申し上げます。

平成13年度からは、塙田理事(昭和35年卒)が後任として担当することになりました。塙田理事は同窓会活動に大変熱心であり、年齢も若く斬新な会報を発行してくれることを期待しておりますので、私同様よろしくお願ひ申し上げます。

(工事製作部門)
総合電気工事・設計・施工
自動制御盤・製作

(代理店・販売部門)
基幹特約店
愛知電機アイチトランクス特約店

—心と技術で明日を築く—

栄興電機工業株式会社

代表取締役社長 三木憲三(昭和23年卒)
北陽高校同窓会会长

本社/〒661-0971 尼崎市瓦宮1丁目9-15
電話(06)6491-5301㈹ FAX(06)6493-1051
本店・工場/〒566-0043 摂津市一津屋3丁目3-14
電話(06)6349-2831㈹ FAX(06)6349-0765
営業所/西宮・宝塚



大黒天
DAIKOKUTENN
うーめん

代表 中山善允
(昭和59年卒)

<http://www.daikokutenn.com>

不明者調査ご協力のお願い

■同封の不明者一覧には

- (1)宛先不明、移転先不明等のため戻った方(町名、番地変更の戻りを含む)
- (2)平成12年版会員名簿で住所不明の方が記載されております。

■事務局では、一人でも多くの同窓生の正しい住所を掲載するために、住所調べを行っております。

しかしながら、現在も住所のつかめていない方がまだまだおられます。

一覧の中に、ご存じの知人(同級生)やご家族の方がおられましたら、同封の「住所不明者連絡ハガキ」にて現住所をお知らせ下さい。

(「住所不明者連絡ハガキ」の紹介面を直接FAXしていただいても結構です。) 電話番号あるいは勤務先名だけでも結構です。

また同期会、クラス会、クラブのOB会等の名簿や勤務先内の同級生名簿のご提供も歓迎です。

なにとぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。

尚、会員番号は必ずご記入下さい。

*情報を頂いた方でまだ記載されている方は、現在確認中です。

北陽高等学校同窓会事務局

FAX (06) 6328-5964(代)

TEL (06) 6327-2747

塗装工事請負※看板製作一式 見積無料

大阪府知事許可(般-55)第56974号 近畿郵政局・吹田市指定業者

株式会社 寺田美研

代表 寺田 賢作(昭和42年卒)
同窓会理事

〒564-0026 吹田市高浜町4-7
TEL(06)6381-2401 FAX(06)6319-3843

ガソリンを売らないガソリンスタンド

WAC
日産石油販売株式会社

〒532-0011 大阪市淀川区西中島4丁目3番8号

TEL(06)6886-0840 FAX(06)6886-0839